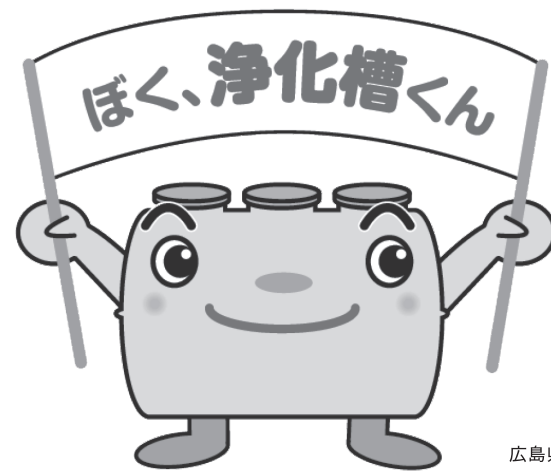


きれいな水環境を守りましょう

10月1日は「浄化槽の日」

問い合わせ 環境整備課 ☎5154



広島県浄化槽維持管理啓発事業キャラクター

浄化槽は
きちんと使って
きれいな水に

浄化槽は、微生物の働きを利用して、水洗トイレや台所などから出る汚れた排水をきれいにする設備です。くみ取り処理、公共下水道、集落排水処理施設への接続がない住居などには設置が必要です。浄化槽には、水洗トイレの污水だけ进行处理する単独処理浄化槽と、台所や風呂などの生活雑排水も併せて処理する合併処理浄化槽があります。

正しく使いましょう

浄化槽は、正しく使わないと、機能が低下し、川や水路の汚染の原因や浄化槽の故障につながる恐れがあります。川などの汚染に伴うトラブルや、機器の修繕の手間が発生することを防ぐために、次の点に注意してください。

○塩素系洗剤（漂白剤、カビ取り剤

など）を使うときは、多量に使用せず、多めの水で洗い流す
○油や野菜くずは流さず、ごみと一緒にに出す
○トイレに紙おむつや衛生用品、タバコの吸い殻を流さない
○長期旅行のときも浄化槽の送風機の電源をつけておく

正しく維持管理しましょう

浄化槽の機能を維持し、長持ちさせるため、定期的に検査や清掃を行います。

法定検査

浄化槽が適正に使用され、本来の浄化機能が十分発揮されているか、保守点検や清掃が実施されているかを確認する検査で、法で義務付けられています。

法定検査は、県指定検査機関（公益社団法人広島県環境保全センター、公益社団法人広島県浄化槽協会）が実施します。

検査の内容

- ①初期の水質検査
浄化槽を使い始めてから3～8カ月の間に行います。
- ②定期検査（年1回）
浄化槽が機能を十分発揮し、処理された水が身近な生活環境の悪化につながないか検査します。

保守点検

浄化槽の装置が正常に働いているかを点検し、必要に応じて修理、消毒剤の補給などを行います。保守点検の回数は、浄化槽の機種や規模ごとに決まっています。

保守点検は、県に登録した浄化槽保守点検業者が行います。

清掃

浄化槽を使用していると、その内部に汚泥などがたまりやすくなります。定期的な汚泥などを抜き取り、浄化槽からの汚泥の流出や悪臭の発生などを防止します。

家庭用の浄化槽であれば、1年に1回以上行うことが一般的です。（汚泥がたまりやすい全ばっ気式は、おおむね6カ月に1回）
清掃は、市が許可した浄化槽清掃業者が行います。

更新する場合も補助対象に

公共下水道や集落排水処理施設の計画区域外の個人の専用住宅（別荘などを除く）に小型合併処理浄化槽を新たに設置する方に、予算の範囲内で補助金を交付しています。
今年の4月からは、くみ取りや単独処理浄化槽からの転換や新築に加えて、既設の小型合併処理浄化槽を更新する場合も補助対象になりました。

おたけ。ごみ事情 No.15

プラスチックごみは資源です。

汚れの取れないプラスチック容器は「もやすごみ」へ――

汚れたプラごみはリサイクルNG

石油を原料としたビニールやポリエチレン製のごみを、「プラスチックごみ」として分別し、週1回収集しています。

分別されたプラスチックごみは、ボイラーの燃料となる固形燃料に加工し、リサイクルしています。

日常生活で使用したプラスチック製の容器には、マヨネーズやケ

問い合わせ 環境整備課リサイクルセンター

☎5101

チャップなどの容器のように汚れが取れていないもの、カビ取り剤や漂白剤など中身が残っているものや使用した食品用ラップなどがあります。このような汚れやにおいの残った容器は、リサイクルの過程で悪臭が発生するため、リサイクルできません。中身が残っているもの、また洗っても汚れが取れないもの、臭いが残るものは、もやすごみとして出してください。

プラスチックのおもちゃは「もやさないごみ」に

プラスチックでできたおもちゃは、金属製の留め金や小型のモーター、電池などが使われていることがありますので、「もやさないごみ」として出してください。
プラスチックのリサイクル推進のために、引き続き皆さんの食べ切り、使い切り、洗浄などの協力をお願いします。

市内で毎年イノシシの被害が多数発生しています。

そこで正しい知識や対策について、3回に分けてQ&Aで紹介します。

Q 有害鳥獣って何？

A 人畜や農作物に被害を及ぼす鳥獣のことです。産業振興課では農作物被害について相談を受け付けています。

Q 捕獲はしているの？

A 大竹市内でのイノシシの捕獲頭数は年200頭ほどです。

Q なぜ人里に下りてくるの？

A 山の手入れ不足や放置果樹の増加などでイノシシの栄養状態が良くなり、生残率が向上しました。その結果、増えすぎたイノシシが餌を求めて、人里に下りてくるようになりました。今では、食べ物が豊富な人里周辺で繁殖や子育てをするようになり、人になれてしまったイノシシが増えています。

有害鳥獣対策のススメ

問い合わせ 産業振興課 ☎5130

第1回

Q 人里では何を食べているの？

A 作り捨ての野菜、放置果樹、生ごみなどを食べています。特に作り捨ての野菜は、畑を荒らされるので気を付けてください。

柵の設置方法などは次回に掲載予定です。また、市では柵作りの指導や、設置費用の補助も行っています。

Q 捕獲してイノシシは減っているの？

A イノシシの繁殖数が多く、捕獲がなかなか追いつかないのが現状です。また、設置したわなは毎日見回らなければならないため、わなを増やすことも難しいです。

傷病獣に近づかないで

9月16日、松ケ原町でイノシシによる人身被害が発生しました。イノシシは、けがを負っていたとみられ、興奮していたところに人が近づいたため、自衛のために危害を加えてきたと考えられます。傷病獣を見かけたときは、不用意に近寄らないことが重要です。もし傷病獣に襲われ、けがをした場合は、感染症になる可能性があります。最寄りの病院で必ず診察を受けてください。